

### 三重県ジュニアポイントランキング(JPR) 高校生ポイント表

大会名／成績		1	2	3	4	5	6	7	8	9～15	16	32
県内大会	県高校総体	100	90	80	70	60	50	45	40	35	20	10
	後藤杯(J)予選										15	8
	国体予選	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	5
	高校選手権	80	70	60					30		15	8
	東海(J)予選										15	8
	全日本(J)予選	100	90	80	70	60	50	45	40	20	20	10
	三重県選手権(J)	100	90	80					40		20	10
学年別	50	45	40					20		10		
県外大会	東海総体	250	200	150					100			
	中部日本(J)	250	200	150					100		80	20
	全国総体	1000	900	800					600		400	100
	後藤杯(J)	250	200	150					100		80	20
	東海選手権(J)	250	200	150					100		80	20
	全日本(J)	1000	900	800					600		400	100
	大阪オープン(J)	500	400	300					150		100	40
東京オープン(J)	1000	900	800					600		400	100	

### 三重県ジュニアポイントランキング(JPR) 中学生ポイント表

大会名／成績		1	2	3	4	5	6	7	8	9	16	32
県内大会	学年別1,2年の部	30	20	10					5			
	学年別3年の部	40	30	20					10			
	中体連県大会	40	30	20	18	16	14	12	10			
	全日本(C)U13予選	20	10	5								
	全日本(C)U14予選	20	10	5					3			
	三重県選手権(C)	40	30	20					10			
	中部日本(C)	100	90	80					40		20	10
県外大会	全中東海予選	200	150	130					70		35	
	全国中学	500	450	400					200		100	70
	東海選手権(C)	10	9	8					4		2	1
	全日本(C)	500	450	400					200		100	70
	後藤杯(C)	200	150	130					70		35	
	大阪オープン(C)	200	150	130					70		35	15
	東京オープン(C)	500	450	400					200		100	70

※東海選手権のポイントについてはR5年度からの記点 今年度の東海選手権より従来の100・90・80・40・20・10に戻す

大会名／成績		1	2	3	8
県外大会	全日本(H)	250	200	150	100
	中部日本(H)	50	40	30	15
	後藤杯(H)	100	90	80	40
	東海選手権(H)	5	4	3	2
	大阪オープン(H)	100	90	80	40

※東海選手権のポイントについてはR5年度からの記点 今年度の東海選手権より従来の50・40・30・15に戻す

### 高校生・ジュニアの試合におけるシードの決定と組み合わせについて

#### 1. 順位の付け方について

- ・1年間の獲得ポイントの多い順に順位をつける。
- ・同ポイントの場合は、直近の高校生県内Aランクの試合のポイントの高いものが上位とし、それでも同ポイントならAランクの試合をさかのぼって順位をつける。年間の県内Aランクの試合の成績も同じ場合は同順位とする。

#### 2. 試合の組合せについて

- ・いずれの試合も当該試合の組み合わせ会議時のジュニアポイントランキング(JPR)にてシードを置く。
- ・原則として32シードまで置き、それより下位についてはコンピュータ等で無作為に振り分ける。
- ・同一校対戦と、シード選手の直近の試合での再戦は以下の優先順位で対戦を避ける。
  - ①同一校の選手が同ブロックにいる場合はシードを下げ、同一校対戦を避ける。
  - ②高校生の県内大会において、シード選手が直近の試合で対戦している場合は、原則としてシードを下げる。
- ・地区予選の結果順位は県大会には反映させない。

#### 3. 各試合におけるシードについて

##### A. 高校総体

- ・地区予選組み合わせ会議時のJPRの高校生上位8名までの選手はシングルの地区予選を免除とする。
- ・ただし、対象選手が出場しない場合は9番目以降より繰り上げる。
- ・シングルスはトーナメント戦を行い、その後1位から8位までの順位決定戦を行う。
  - 準決勝で敗れた2名の選手が3位決定戦を行う。
  - 準々決勝で敗れた4名の選手が対戦し、勝者は5位・6位決定戦、敗者は7位・8位決定戦を行う。
  - 4位と5位の選手が全国総体決定戦を行う。ただし準々決勝で対戦していた場合はその結果を引き継ぐ。
- ・ダブルスで前年度の高校選手権、全日本予選、三重県選手権でベスト4以上に入ったペアは地区予選を免除とする。
- ・ダブルスはトーナメント戦を行い、1位から4位までの順位決定戦を行う。
  - 決勝で敗れたペアと、準決勝で1位のペアに敗れたペアが2位・3位決定戦を行う。

##### B. 中部日本 後藤杯予選

- ・トーナメント戦で行う。
- ・予選免除者(前年度ランキング保持者、組み合わせ会議時のJPR上位12名)は予選通過最高ポイントを与える。

##### C. 国民スポーツ大会県選考会

- ・1次予選はトーナメント戦で行い2名を決定し、2次予選は上記4名と合わせて6名によるリーグ戦を行う。
- ・対象選手が出場しない場合は、順次繰り上げる。
- ・組み合わせ会議時のJPR中学3年生以上の最上位1名は選考会免除で代表となる。また、それに次ぐ選手が700ポイントを超えている場合はその選手も選考会免除で代表となる。
- ・上記選考会免除となる選手に次ぐ上位4名は1次予選を免除となる。
- ・本県出身のJOCエリートアカデミーに在籍する選手が対象者にいた場合、2次予選から参加できる。
- ・なお、JOCエリートアカデミーに在籍する選手の結果はポイント順位より除外し、それ以下の選手を繰り上げる。

##### D. 高校選手権

- ・決勝までトーナメント戦で行う。
- ・地区予選組み合わせ会議時のJPRの高校生上位8名までの選手と、国体2次予選進出者は地区予選免除とする。
- ・ただし地区予選免除対象者で出場しない選手が出た場合、繰り上げて地区予選免除とする。

##### E. 東海予選

- ・トーナメント戦で行う。
- ・予選免除者(前年度ランキング保持者、組み合わせ会議時のJPR上位12～32名)は、予選通過最高ポイントを与える。

##### F. 全日本ジュニア 大阪選手権ジュニア予選

- ・準々決勝までトーナメント戦で行い、その後1位～4位、5位～8位決定リーグ戦を行う。
- ・リーグ戦後に4位と5位の選手が4位・5位決定戦を行う。ただし準々決勝で対戦していた場合はその結果を引き継ぐ。
- ・予選免除者(昨年度本大会ランキング保持者)は予選通過最高ポイントを与える。
- ・カデットの部でポイントを得ている選手がジュニアの部に出場してポイントを得た場合、高いポイントを得た方を採用する。

##### G. 三重県選手権

- ・決勝までトーナメント戦で行う。

##### H. 学年別(新人戦個人)の部

- ・地区予選組み合わせ会議時のJPRが、高校1、2年生合わせて上位8名の選手は地区予選免除とする。
- ・決勝までトーナメント戦で行う。

#### 4. ポイントの消滅について

- ・各試合が終了した時点で、前年度のポイントは消滅し今年度のポイントが加算される。ただし高校3年生の「中部日本予選」、「中部日本」、「全日本ジュニア予選」のポイントは「高校選手権」が終了した時点で消滅する。
- ・高校1年生の中学3年生時のポイントは以下の試合が終了した時点で消滅し今年度のポイントが加算される。
  - A. 「学年別3年生の部」→「中部日本予選」
  - B. 「中体連県大会」、「全中東海予選」、「全国中学」→「高校選手権」
  - C. 「中部日本カデット」→「中部日本ジュニア」
  - D. 「全日本カデットU14予選」→「全日本ジュニア予選」
  - E. 「東海選手権カデット」→「東海選手権ジュニア」
  - F. 「全日本カデット」→「全日本ジュニア」
  - G. 「名古屋オープンカデット」→「名古屋オープンジュニア」
  - H. 「大阪オープンカデット」→「大阪オープンジュニア」
  - I. 「東京オープンカデット」→「東京オープンジュニア」

#### 5. ダブルスの組み合わせについて

##### A. 高校総体

- 以下の順序でシードをおく。
  - ①前年度「三重県選手権ダブルスの部」1、2位
  - ②前年度「全日本選手権予選ダブルスの部」1、2位
  - ③前年度「高校選手権ダブルスの部」1、2位
  - ④前年度「三重県選手権ダブルスの部」3位
  - ⑤前年度「全日本選手権予選ダブルスの部」3、4位
  - ⑥前年度「高校選手権ダブルスの部」3位
  - ⑦ペアを組む二人のジュニアポイントの合計が多いペアから順に第8シードまで埋める
  - ⑧前年度「高校選手権ダブルスの部」ベスト8
  - ⑨前年度「高校選手権ダブルスの部」ベスト8以上の選手同士で組み替えたペア
  - ⑩ペアを組む二人のジュニアポイントの合計が多いペアから順に第32シードまで埋める

##### B. 高校選手権

- 以下の順序でシードをおく。
  - ①「高校総体」のベスト8のペア
  - ②ペアを組む二人のジュニアポイントの合計が多い順に第8シードまで埋める
  - ③「高校総体」のベスト8以上の選手同士で組み替えたペア
  - ④ペアを組む二人のジュニアポイントの合計が多い順に第32シードまで埋める